

学 科	鍼灸マッサージ科			学年	3学年	期 別	通年	実務経験の有無	有
授業科目名	臨床実習				担当教員	餌取光輝・山梨あかり・城田健吾・山田英史			
授業の方法	講義・演習				単位数	2 単位			
学修内容	臨床で行われている様々な治療法についてその概要を知り、臨床の場で応用できるような知識・技術を身につける。								
授業の到達目標	Ⅱ. 医学的知識 1. 人体の正常な機能と構造 Ⅲ. 基本的臨床能力 5. あはき施術を安全かつ適切に行う能力								
授業計画	前 期				後 期				
	回	テーマ	テーマ		回	テーマ	回	テーマ	
	1	総合演習	16	治療実習⑦(2名×2組) 刺鍼・施灸練習	1	前期総合復習①	16	予備日	
	2	オリエンテーション	17	治療実習⑧(2名×2組) 刺鍼・施灸練習	2	前期総合復習②	17		
	3	刺鍼・施灸演習 練習課題①	18	治療実習⑧(2名×2組) 刺鍼・施灸練習	3	評価実習①(1名×3組) 応用練習	18		
	4	刺鍼・施灸演習 練習課題②	19	治療実習⑨(2名×2組) 刺鍼・施灸練習	4	評価実習②(1名×3組) 応用練習	19		
	5	診療録(カルテ)講習	20	治療実習⑩(2名×2組) 刺鍼・施灸練習	5	評価実習③(1名×3組) 応用練習	20		
	6	インフォームドコンセント講習	21	治療実習⑫(2名×2組) 刺鍼・施灸練習	6	評価実習④(1名×3組) 応用練習	21		
	7	演習:医療面接～病態把握～治療方針～	22	治療実習⑬(2名×2組) 刺鍼・施灸練習	7	評価実習⑤(1名×3組) 応用練習	22		
	8	演習:医療面接～病態把握～治療方針～	23	治療実習⑭(2名×2組) 刺鍼・施灸練習	8	評価実習⑥(1名×3組) 応用練習	23		
	9	演習:医療面接～病態把握～治療方針～	24	治療実習⑮(2名×2組) 刺鍼・施灸練習	9	評価実習⑦(1名×3組) 応用練習	24		
	10	治療実習①(2名×2組) 刺鍼・施灸練習	25	治療実習⑯(2名×2組) 刺鍼・施灸練習	10	評価実習⑧(1名×3組) 応用練習	25		
	11	治療実習②(2名×2組) 刺鍼・施灸練習	26	外部評価実習 オリエンテーション	11	評価実習⑨(1名×3組) 応用練習	26		
	12	治療実習③(2名×2組) 刺鍼・施灸練習	27	フィードバック/予備日 総合演習	12	評価実習⑩(1名×3組) 応用練習	27		
	13	治療実習④(2名×2組) 刺鍼・施灸練習	28	フィードバック/予備日 総合演習	13	評価実習⑪(1名×3組) 応用練習	28		
	14	治療実習⑤(2名×2組) 刺鍼・施灸練習	29	フィードバック/予備日 総合演習	14	フィードバック/予備日 総合演習	29		
	15	治療実習⑥(2名×2組) 刺鍼・施灸練習	30	フィードバック/予備日 総合演習	15	フィードバック/予備日 総合演習	30		
評価基準	評価:90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)								
評価方法	評価実習内容:50% 診療録(カルテ):20% 臨床推論(症例報告):20% 平常点:10%				実務経験	臨床経験12年 教員歴4年			
履修上の注意	3年間で学んだ知識と技能の総合的能力が試される授業になります。				授業時間外の学習	医療面接、整形外科的理学検査の復習をしっかりと行なってください。			
使用教材	配布資料・東海医療学園「臨床実習ハンドブック」 臨床実習診療録のコピー・症例報告書				連絡先	質問や相談があるときは事務課を通して直接訪ねてください。			